

多摩だより

相談員在室日：月・水・木

〔スポーツ健康学部 4 年 M・K さん〕

3 週間の中学校での教育実習を通して、様々

なことを経験し感じる事が出来た。具体的には教師の仕事の大変さと、やりがいや達成感を実感することが出来た。朝早くから夜遅くまで多くの先生方が仕事をしており、日曜日であっても職員室には先生方がいた。一日を通して休む時間はなく、授業準備にも追われ、教材研究の時間がほとんどないように感じた。大学生活や教師になるまでの時間の中で、いかに教科の事を勉強し伝えたいことを上手に伝える練習をするかが大事であると思った。最初はなかなか上手に授業が出来ず落ち込むことが多かったが、生徒から「先生のおかげで跳び箱が跳べました。」や「来年も体育教えてください。」などの言葉を掛けられるうちに自信が付き、研究授業に臨むことが出来た。大変な分、生徒と心が通じた瞬間や人に感謝された時には本当にやりがいを感じ、3 週間の終わりに学級からサプライズをされた時は、きっと卒業生を出したら先生を辞められなくなると思うほど感動した。自分が思っていたよりも子供でも大人でもある中学生と過ごす中で自分も成長できたと思う。この経験を忘れずに今後教員になるための努力をしていく。

🏠 教育実習を終えた学生さんの声をご紹介します

〔スポーツ健康学部 4 年 K・T さん〕

私は保健体育科として都立の中高一貫の学校で 3 週間、教育実習を行いました。この実習を通して学んだことは、教師という仕事の大変さとやりがいです。

私は今回の実習で保健 7 コマ、体育 23 コマの授業を担当させていただきました。種目も柔道、走り幅跳び、バレーボール、ソフトボールと 4 つの種目を担当させて頂きました。そのため、指導案や用具の確認など授業を行うための準備が多くありました。実際の授業では、説明の仕方や場の設定の難しさを感じ、自分の指導力の無さを痛感しました。さらに、授業以外にも体育祭の手伝いや、HR、掃除、部活の指導など他にも多くのことを経験させていただきました。率直に「教師って、忙しすぎる」と感じました。しかし、それと同じくらいやりがいも感じられました。ソフトボールの授業で「先生の教え方で打ったら遠くに飛んだ!」と言ってくれた生徒がいました。他の授業でも生徒の成長を感じる場面が多くあり、子どもたちの成長を近くで見ることが出来る教師という仕事のやりがいを感じることができました。そして改めて、教師になりたいという想いが強くなりました。

3 週間は長いようであるという間に過ぎていきました。辛いことが多くありましたが、積極的に子どもたちと関わりを持ち、何事にもチャレンジしていく姿勢でいれば、充実した実習になると思います。

〔経済学部 4 年 S・M さん〕

私は社会科の実習生として千葉の中学校で 3 週間実習を行いました。100 分間の講義型授業に慣れている私たちには、50 分という短い授業時間では何を教えるかよりも何を省くのかを考えなければならなかったり、授業中に生徒に音読をさせたり、話し合いを重視させる必要があったりと、大学で勉強しているだけでは想像できなかった経験が多々ありとても刺激を受けました。

教育実習前には時間は多くあります。教育実習中は時間に追われます。1 か月前あたりには実習校に挨拶に行き、大方の授業範囲をうかがって、大学等できちんと準備をしておくことも有意義な実習になると思います。

〔経済学部 4 年 N・K さん〕

私は高校で 3 週間、教科は日本史で実習を行いました。授業したクラスは受験を控えた 3 年生 2 クラスでした。実習前の打ち合わせで、授業回数のことを聞いても特に不安はなかったのですが(ちなみに 14 回です)、やはり 3 年生を教えるということはすごく不安でした。そのため、実習前に授業プリントや、ある程度の授業の流れは作って、自分の中では万全の状態を実習に臨みました。ですが、結論から言いますと実習中にすべて作り直す羽目になりました。理由は、授業をすることへの認識の甘さや圧倒的な知識不足です。授業をするということの辛さや、難しさは実際やってみないとわからないかもしれませんが、教材研究はできると思うので実習前にしっかりやっておくことをお勧めします。それは、教科書を熟読することや問題集を解いて問題を解けるようにすることではありません。それでできる授業は正直高校生にもできます。自分が担当する該当範囲だけで良いので、図書館で本を借りるなどしてもう一步踏み込むことをお勧めします。

以上が、実習を終えて私が身に染みて感じたことであり、これから実習を経験する人にぜひ知っておいてほしいことです。始まるまでは 3 週間は長いと思うかもしれませんが、実際は一瞬で終わります。しかし、こんなに充実した 3 週間は他にはないと思います。大変なのは事実ですが、全力で充実した教育実習にしてください。

☆稲毛先生コーナー 第1回☆

(稲毛先生は毎週木曜日ご勤務の保健体育科相談指導員です。)

皆さん積極的に先生のもとをお訪ね下さい!!

*** 6月の相談室で何名かのスポ健の学生から教員採用試験の実技試験について質問がありました。個々の種目については、わかる範囲で対応しましたが、全体の流れや注意についてお話しします。埼玉県の話になってしまいますが、共通する点もあると思います。私の3月までの勤務校の卒業生(本年度から本採用)に情報を提供して貰いました。**



● 8:45 集合 / 9:25~10:25 専門科目試験 /

10:50~11:50 一般教養・教職科目 / 12:10~ 昼食・更衣



❖ 〈実技試験〉

● 13:00~ 整列

会場係からアナウンスがあり、集合・整列する。種目ごと、受験番号順に整列。

● 13:10~ 点呼・説明・準備体操

全体で準備体操・ストレッチをする。その後、会場係の指示に従って、まとまって移動。

❖ 〈実技試験中・移動〉

最初の移動のみ、会場係が会場に先導してくれる。以降は、各自で会場にたどり着かないとならず、迷っていた受験者もいた。移動時間は余裕があるが、実技試験が終わり次第、すぐに次の会場に移動するように。待ち時間が長く、会場全体も暑い。

待ち時間中は、受験者同士で話をしたり、和やかな雰囲気。すべての実技が終わり次第、解散。

★試験場関係の注意★

● 校内の自販機が使用不可(埼玉県の場合) → 校内の自販機は使用できず、水飲み場もわかりにくいところにある。実技試験が終わる時間は受験者によって異なるが、17時前後まではかかる。十分に水分を用意し、体調管理に気をつける。

● 実技試験の各会場がわかりにくい → 1つ目の実技会場へは、会場係が先導してくださるが、それ以降は各自でたどり着かないといけない。特に、外種目から体育館の移動は距離があり、手間取っていた。

※ダンスは時間がかかる! 次の試験に遅れていくような形になる。試験監督自体は、遅れてくることに関して、特に気にせず理解してくれている雰囲気だが、とにかく自分が焦る。移動はなるべく早く! 間に合わなくても、動揺しない。(ダンス選択者)

教職相談の申し込み、質問は・・・

★窓口へ来室、もしくはメールにて事前申し込み★

メールは、公的な依頼文にふさわしい文体・体裁を考え、かつ以下の内容を必ず盛り込むようにして下さい。

①氏名②学部・学科③学年④学籍番号⑤面談希望時間

(第3希望まで) ⑥相談内容 ⑦メール・アドレス(パソコンから連絡可能な連絡先)を必ず記入して下さい。

*宛先: kyoshokutama1@ml.hosei.ac.jp